

記入例

申請書（申請者に関する情報） 協力金 6/21～7/11・京都市外 様式1

京都府知事 西脇 隆俊 様

(申請日) 令和3年 ● 月 ● 日

受付番号 ※

※受付番号は、記入しないでください。

申請者に関する情報	申請区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 個人事業主 (※いずれかにチェック)		<input type="checkbox"/> 大企業 <input type="checkbox"/> みなし大企業 (※いずれかにチェック)		<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業等			
	フリガナ	カブシキカイシャ ○○○○○○○○○							
	法人名	株式会社 ○○○○○							
	フリガナ	○○○○○○○							
	【法人】代表者役職・氏名 【個人】氏名	代表取締役社長 ○○○○							
	法人代表者・個人 生年月日	S:昭和	H:平成	35	年	2	月	1	日
	【法人】所在地 【個人】自宅住所	〒	0	0	0	0	0	0	0
		京都	都・道・府・県	○○	市・区・町・村	○○	○○町11-11 ○○ビル3階		
	電話番号	075-○○○-○○○○			担当者名	○○○○			
	担当者電話番号	075-○○○-△△△△			連絡先 メールアドレス	aaaaa@aaaaaaaa.co.jp			
常時使用する 従業員数(人)	25		人	資本金額※	10,000,000		円		
法人番号※	99999999999999								

※資本金額及び法人番号は、申請者が法人の場合に記入してください。

申請する店舗数	2	店舗
---------	---	----

※様式1-1に、施設ごとの情報を記載してください。

申請書（施設に関する情報）協力金 6/21～7/11・京都市外	様式1-1
--	-------

法人名又は 個人事業主名	株式会社 ○○○○	記入例
-----------------	-----------	-----

↓該当するものに必ずチェックしてください。4期の申請をされた方は4で始まる7桁の受付番号を記載してください。		対象地域
<input type="checkbox"/>	本施設は、(1)感染症拡大防止協力金(令和2年12月21日～令和3年1月11日)に申請済みです。	京都市内
<input type="checkbox"/>	本施設は、(2)感染症拡大防止協力金(令和3年1月12日、1月13日)に申請済みです。	京都市内
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(3)緊急事態措置協力金(令和3年1月14日～2月7日)に申請済みです。	京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(4)緊急事態措置協力金(令和3年2月8日～2月28日)に申請済みです。	京都府全域
<input type="checkbox"/>	本施設は、(5)感染症拡大防止協力金(令和3年3月1日～3月14日)に申請済みです。	京都府全域※1
<input type="checkbox"/>	本施設は、(6)感染症拡大防止協力金(令和3年3月15日～3月21日)に申請済みです。	京都市内
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(7)感染症拡大防止協力金(令和3年4月5日～4月24日)に申請済みです。	京都市内※2、 山城・乙訓地域
<input type="checkbox"/>	本施設は、(8)まん延防止等重点措置協力金(令和3年4月12日～4月24日)に申請済みです。	京都市内
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(9)緊急事態措置協力金(令和3年4月25日～5月11日)に申請済みです。	京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(10)緊急事態措置協力金(令和3年5月12日～5月31日)に申請済みです。	京都府全域
<input checked="" type="checkbox"/>	本施設は、(11)緊急事態措置協力金(令和3年6月1日～6月20日)に申請済みです。	京都府全域
<input type="checkbox"/>	本施設は、上記協力金のいずれにも申請を行っていません。	※1 京都市以外は3/7まで ※2 京都市内は4/11まで
フリガナ	レストランサンカク	
施設名称 (店舗名等)	レストラン△△△△	
営業許可番号	京保セ第○○○号	営業許可証の有効期限 (元号) 令和3年8月31日
所在地	〒00000000 京都府 ○○市○○町○○番地 ○○○ビル○階101	施設コード (P7参照) 1 1 0 1
施設電話番号	075-0000	飲食店 ※施設の種類を具体的に記入してください。

時短要請の対応状況	
酒類の提供	<input type="checkbox"/> 酒類は提供していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 酒類の提供は午前11時から午後8時30分までに短縮している

時短要請に対応した日数及び営業時間													
6月					7月					協力日数	短縮後の営業時間		
21	22	23	24	25	1	2	3	4	5			18	11:00～21:00
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水				
○	○	○	定	○	○	○	○	○	○				

時短要請に応じた日(終日休業した日を含む)に「○」、定休日等の店休日に「定」を記入してください。
もともと21時までに閉店する日は空欄にしてください。
「○」の合計数を協力日数欄に記入してください。

前年(6/22～7/12)又は前々年(6/24～7/14)の営業日数等		
営業日数	定休曜日	通常の営業時間
18 日	木 曜日	11:00～23:00

前年(6/22～7/12)又は前々年(6/24～7/14)の期間中における営業日数を記入してください。

6月21日(月)から時短要請に応じることが困難な場合は、その事情を以下の記載欄に記載してください。

記載欄	
-----	--

前年(6/22～7/12)又は前々年(6/24～7/14)と要請期間の営業日数が異なる場合には、理由書(様式4)を提出してください。

理由書(様式4)を提出します。

複数施設(店舗)を申請する場合、「様式1-1」をコピーして各施設(店舗)に関する情報(1施設(店舗)につき1枚ずつ)【注意】を記入してください。添付書類(「別表2」⑦～⑯)の表紙として使用し、1施設(店舗)ごとに提出書類をまとめて提出するようにしてください。「○○屋四条店」など、どの施設(店舗)か分かるように記載してください。

P11「協力金支給額フローチャート」【1】の場合

記入例

支給額は1日当たり2.5万円です。

$$25,000 \text{ 円} \times \begin{array}{|c|c|} \hline \text{時短協力日数} \\ \hline 18 \text{ 日} \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|c|} \hline \text{当該店舗の支給額} \\ \hline 450,000 \text{ 円} \\ \hline \end{array}$$

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P11「協力金支給額フローチャート」【2】の場合（売上高方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和2年又は令和元年の6・7月の売上高計 ① 12,345,678 円 ÷ 61 日 = 令和2年又は令和元年の6・7月の1日当たり売上単価 ② 202,388 円

※ p11「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。

②で算出された売上単価 × 0.3 = 千円未満切上げ前の支給単価 ③ 60,716 円

千円未満切上 → 1日当たり支給単価 ④ 61,000 円 ※最大7.5万円

④ 1日当たり支給単価 61,000 円 × ⑤ 時短協力日数 18 日 = ⑥ 当該店舗の支給額 1,098,000 円

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

P11「協力金支給額フローチャート」【3】の場合（売上高減少額方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和2年又は令和元年の6・7月の売上高 ① 23,456,789 円 - 令和3年6・7月の売上高計 ② 2,222,222 円 = 令和3年6・7月の売上高減少額 ③ 21,234,567 円

令和3年6・7月の売上高減少額 ③ 21,234,567 円 ÷ 61 日 = 1日当たり売上高減少単価 ④ 348,108 円

④で算出された売上高減少単価 × 0.4 = ⑤ 139,243 円

令和2年又は令和元年の6・7月の売上高 ① 23,456,789 円 ÷ 61 日 = 令和2年又は令和元年の6・7月の1日当たり売上単価 ⑥ 384,538 円

⑥で算出された売上単価 × 0.3 = ⑦ 115,361 円

⑤又は⑦のいずれか低い金額

千円未満切上げ前の支給単価 ⑧ 115,361 円 → 千円未満切上 → 1日当たり支給単価 ⑨ 116,000 円 ※最大20万円

⑨ 1日当たり支給単価 116,000 円 × ⑩ 時短協力日数 18 日 = ⑪ 当該店舗の支給額 2,088,000 円

※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

月別売上高が分からない場合、年間売上高を用いて申請することもできます。

P11「協力金支給額フローチャート」【2】の場合(売上高方式) **記入例**

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

いずれかに○をつけてください。(令和2年2月29日が含まれる場合は366日)

令和2年又は令和元年の年間売上高計	① 60,000,000 円	÷	○ 365日	=	② 164,384 円	※ p11「協力金支給額フローチャート」の①~③にあてはめてください。
令和2年又は令和元年の1日当たり売上単価			366日			
②で算出された売上単価	× 0.3 =	③ 49,315 円	千円未満切上	→	③ 50,000 円	※最大7.5万円
1日当たり支給単価	③ 50,000 円	×	④ 18 日	=	⑤ 900,000 円	※様式1-1に記載の日数
1日当たり支給単価	③ 50,000 円	×	時短協力日数		④ 18 日	
				=	⑤ 900,000 円	当該店舗の支給額

上記内容で申請します。

P11「協力金支給額フローチャート」【3】の場合(売上高減少額方式)

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

令和2年又は令和元年の年間売上高計	① 120,000,000 円	÷	○ 366日	=	② 327,869 円	令和2年又は令和元年の1日当たり売上高
令和3年6・7月の売上高計	③ 2,000,000 円	÷	61 日	=	④ 32,787 円	令和3年6・7月の1日当たり売上高
令和2年又は令和元年の1日当たり売上高	② 327,869 円	-	④ 32,787 円	=	⑤ 295,082 円	1日当たり売上高減少額
1日当たり売上高減少額	⑤ 295,082 円	× 0.4 =	⑥ 118,033 円	→	⑥又は⑦のいずれか低い金額	※ p11「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上高減少額が18.75万円を超えるか確認してください。
令和2年又は令和元年の1日当たり売上高	② 327,869 円	× 0.3 =	⑦ 98,361 円			
千円未満切上げ前の支給単価	⑧ 98,361 円	千円未満切上	→	⑨ 99,000 円	1日当たり支給単価	※最大20万円
1日当たり支給単価	⑨ 99,000 円	×	⑩ 18 日	=	⑪ 1,782,000 円	当該店舗の支給額
			時短協力日数		⑩ 18 日	※様式1-1に記載の日数

上記内容で申請します。

令和2年6月2日以降に開店した店舗については、開店日から令和3年5月31日までの売上高を用いて申請することもできます。

開店日： 令和 2年 7月 1日 記入例

P11「協力金支給額フローチャート」【2】の場合（売上高方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

① 開店日から令和3年5月末までの売上高 45,000,000 円	÷	①の日数 335 日	=	② 開店日以降の1日当たり売上単価 134,328 円
開店日から令和3年5月末までの日数を記入してください。				
②で算出された売上単価	× 0.3 =	③ 千円未満切上げ前の支給単価 40,299 円	千円未満切上	③ 1日当たり支給単価 41,000 円
※最大7.5万円				
③ 1日当たり支給単価 41,000 円	×	④ 時短協力日数 18 日	=	⑤ 当該店舗の支給額 738,000 円
※様式1-1に記載の日数				

上記内容で申請します。

※ p11「協力金支給額フローチャート」の①～③にあてはめてください。

P11「協力金支給額フローチャート」【3】の場合（売上高減少額方式）

支給額の計算が必要です。以下を記入して支給額を確定してください。

① 開店日から令和3年5月末までの売上高 100,000,000 円	÷	①の日数 335 日	=	② 開店日以降の1日当たり売上高 298,507 円
開店日から令和3年5月末までの日数を記入してください。				
③ 令和3年6・7月の売上高計 2,000,000 円	÷	61 日	=	④ 令和3年6・7月の1日当たり売上高 32,787 円
② 開店日以降の1日当たり売上高 298,507 円	-	④ 令和3年6・7月の1日当たり売上高 32,787 円	=	⑤ 1日当たり売上高減少額 265,720 円
⑤ 1日当たり売上高減少額 265,720 円	× 0.4 =	⑥ 106,288 円	→	⑥又は⑦のいずれか低い金額
② 開店日以降の1日当たり売上高 298,507 円	× 0.3 =	⑦ 89,552 円		
⑧ 千円未満切上げ前の支給単価 89,552 円	千円未満切上	⑨ 1日当たり支給単価 90,000 円	※最大20万円	
⑨ 1日当たり支給単価 90,000 円	×	⑩ 時短協力日数 18 日	=	⑪ 当該店舗の支給額 1,620,000 円
※様式1-1に記載の日数				

上記内容で申請します。

※ p11「協力金支給額フローチャート」の飲食部門における1日当たりの売上減少額が18.75万円を超えるか確認してください。